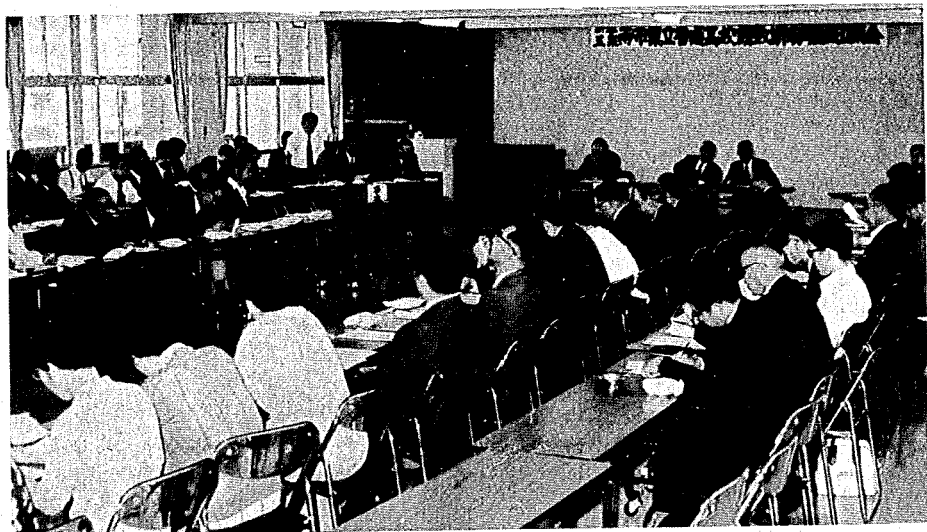


実現したいもう1校の高校新設

新津・五泉両市県立普通高校誘致期成同盟



普通科志望の
進学難解消に

両市市民の
総意結集で

県教育委員会では、先き頃
公立普通高校通学区区域の一部
改編案を公表しました。

さいわい、新津、五泉学区
は、両市期成同盟の要望どお
り、現在のままで変更はなく、
従来同様、両市の全面的連携
のもとで誘致運動が継続され
ます。

普通科志望生徒が増加して
いるなかで、現行の県内十学
区中、最も収容率の低い新津、
五泉学区は、人口急増地域の
新潟学区に次ぐ進学難地区で
あり、別掲資料「学区内進学
状況」の中の数字が示してい
るように両市だけでも五学級
から六学級分に相当する生徒
が収容できない現状にあります。

「一日も早く普通高校誘致
実現を」との切実な父兄、生
徒の願いを背景に、昨年八月
末両市の誘致組織が統合、一
体化してからすでに一年二か

月余りを経過しました。

この間、陳情、請願など、
県及び県教育委員会への働き
かけを継続してきましたが、
誘致実現の年度など、具体的
なメドがつかないまま、現在
に至っています。

そこで両市普通高校誘致期
成同盟では去る十一日、第二
回総会を開き、これからの有
効な働きかけの方法を中心に
協議しました。

新津、五泉学区の収容率の
低さ、進学難の実態は、県当
局も十分知っているわけで
から、今後両市市民の総意
を結集した強力な運動で誘致
実現を早めるほか、きめては
なさそうです。

両市統合組織発足後の経過、
総会の概況、最近の学区内進
学状況などをお知らせして、
市民各位の一層の理解と協力
をお願いするものです。